

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が前年に比べ増加傾向である。
	◎	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、本市独自のキャンペーン等もあり、来客数、客単価共に上がってきている。忘年会はまだ少ないものの、その分高単価の弁当等のテイクアウトが出ている。ようやく、コロナ前の水準に近づいている。
	◎	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・少人数ではあるが、宴会数が増えている。
	◎	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出時よりははまだ良いというレベルである。ただし、新型コロナウイルス新変異株の影響か、予約件数は止まってきている。2月のGo To Travelキャンペーン再開に影響が出ないことを願っている。
	◎	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊は、スポーツ団体を中心に稼働が安定している。料飲部門は、少人数の宴会や会食等が増えている。
	◎	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・週末を含め、交通量、来店客数共に前年より大幅に増えている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・幼稚園、学校行事や外出が増えたことにより、来客数や売上も増加しているが、一時の勢いはない。
	○	一般小売店 [土産]（経営者）	販売量の動き	・前月同様に、3か月前より売上は良く、新型コロナウイルス以前の2019年度と比較しても、売上達成度が7割弱程度まで改善している。新型コロナウイルス新変異株の市中感染が報道されているが、年末の客の出足は改善傾向にある。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が危惧されるが、現時点では感染者数が低水準で推移していることもあり、来客数、売上共に回復基調にある。ただし、前々年の数字には大きく及ばない。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・9月末に緊急事態宣言が解除となり、徐々にではあるが売上、来客数共に回復傾向にある。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言等が解除されて、客の波が戻ってきたため、やや良くなっている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・売上は2万円プラスで前年比104%、来客数は2人プラスの同100%、客単価は63円プラスで同108%となっている。11月中旬から持ち直して、前年を超えてきている。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている影響が大きい。客単価の伸びは、商材の値上げによるところが大きい。来客数は前年並みに戻ったが、新型コロナウイルス以前には戻らず、このままリモート出勤は続くと思われるため、回復の見込みは薄い。
	○	家電量販店（店長）	それ以外	・子育て世代への給付金の配布により、やや良くなっている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当店は周辺全てが観光地なので、緊急事態宣言が解除されたこともあり、顧客であるホテルやレストラン、ドライブイン等では、人の出入りが激しくなってきた喜んで様子が多く見られる。合わせて当店のサービス入庫や修理関係も増えたので、3か月前と比べると雲泥の差と言ってよいほど良くなっている。
○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・客単価はそれほどでもないが、見積りや販売量がやや良くなっている。	
○	その他専門店 [靴小売業]（経営者）	お客様の様子	・12月に入って、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたので、当店のターゲットの客層が動き始めている。しばらく買物をしていられたので周囲も良くなってきている。ただし、若年層は、全体的に収入やパートの勤務時間が減ったり、作物の出来が良くないため、買物に向いていない。	

○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・主要業務の事業所給食事業は安定して推移している。ただし、イベント関連、事業所内の年末年始行事に伴うケータリングやイベント開催に伴う弁当提供等、レストランの忘年会等の法人需要は戻らない状況が続いている。
○	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・今まで自粛していた企業の会合や祝賀会等の動きが出てきている。客からも「久しぶりに顔を合わせて食事会が行えることを喜んでいる」との声が多数聞こえている。
○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少並びに県民割の実施により、旅行者数も増加傾向にある。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の懸念はある。
○	通信会社（経営者）	販売量の動き	・10月からの新型コロナウイルス収束を踏まえ、年末前から少しずつではあるが受注が増えてきている。
○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・時期や行先を変更した学生団体が大幅に増加している。Go To Travelキャンペーンが実施された前年にも迫る来園者数となっている。
○	ゴルフ練習場（経営者）	販売量の動き	・宿泊施設に対して補助金が出ている関係で、人の動きが活発である。
○	競輪場（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて3か月が経過し、新型コロナウイルス禍以前までには程遠いが、徐々に来場者が戻っている印象がある。
○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新規の問合せが来るようになってきている。特に、事業者はアフターコロナを見据えた、新しい取組を考えているようである。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・例年のことだが、暮れの気分が出ていない。ボーナスが支給されただろうが、どのように使われているかまだ分からない。新型コロナウイルスの影響で、人の動きがなく、年末売出も控えめで、各町内の餅つき大会やクリスマスイベントも中止が多く、皆の集まる機会が全くない。
□	百貨店（店長）	販売量の動き	・来客数は前年から増加しているが、販売点数が伸びていない。一方で、富裕層による高額商材の購買が堅調なため、全体の購買単価は上昇している。今後、来客数や販売点数が増加となれば、景気の上向きを実感できる。
□	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・食料品の値上げ等があるものの、客単価、買上点数に大きな変化はなく、来客数の増減が売上の課題になっている。
□	衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・現状、平日は年末年始の贈答品等の動きがやや戻っている。
□	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・当店の顧客は高齢者が多いためだと思うが、緊急事態宣言が明けてからも、かなり慎重に見極めているようで、来店頻度が極めて低い。本当に来客ゼロという日もかなり多い。その上、新型コロナウイルス新変異株の話が出てきて、何とも真つ暗である。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・最近の新車販売では貨物車が売れず、困っている。もちろん、乗用車、軽自動車も新型コロナウイルス禍前と比べると25%程度落ち込んではいない。一方、低価格の中古車販売が少し増えている。整備関連の売上はほぼ横ばいである。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注はあり、遅延していた車両の納期も回復傾向になってきているが、遅延も含めて受注残の増加までには至らない。
□	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・車両購入目的での来店数は若干減っているものの、新型車の投入等で興味を持っている客もいる。
□	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は、少しずつ改善に向かっていくかもしれない。ただし、来客数は横ばい状態が続いており、当面変化しない。
□	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者が大きく減少し、冷え込みが厳しくなれば季節商材の動きが活発になると予想していたが、思ったように来客数が増えてこない。次の感染拡大の波を警戒している感もあり、少なくともリベンジ消費にはなっていない。

	□	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きが良かったので、前年同月比25%の増収である。
	□	通信会社（局長）	来客数の動き	・来客数が横ばいで推移しているが、購買意識は向上している。
	□	美容室（経営者）	お客様の様子	・客との会話で「新型コロナウイルス禍での生活に慣れて、積極的に外出する気が起こらない。食事も趣味も今の状態で十分に足りている。諦めることが多いことに慣れたので、改めて外に刺激を求めない」という話が聞かれた。新型コロナウイルスの影響は依然大きい。地方では経済の回復を望むというより、冷え切った期間が長引いている。ただし、食料品を扱うスーパー等の人出は多くなったように見受けられる。
	□	美容室（経営者）	来客数の動き	・首相に、金融資産課税や自社株買いのガイドライン規制を軽々に答弁しないでほしい。株式市場に及ぼす発言の影響は、外相時代とは比べものにならず、下落リスクの要因になっている。
	□	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・販売、整備、板金塗装部門の売上が、前年比15%減で推移しており、回復の兆しが見えない。
	□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・忘新年会も若干開催され、飲食業は景気が戻ってきているように感じるが、新型コロナウイルス新変異株の感染者が増えてきていることもあり、景気は変わらない。
	□	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・関連産業である建築で資材納品が停滞しているため、販売停止状態となっている。
	□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、街は低迷しており、引き合いや内見はあるが、契約には至らない。まだやはり、新型コロナウイルスの影響で、店が閉店になってしまうのではないかとといった不安要素があるために、なかなか契約には至らない状況である。
	□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株への脅威からか、来訪を敬遠する動きが、また少し出てきている。実際の現場を確認しないと仕事が前に進まない営業スタイルなので、困惑している。そうしたことから、仕事の依頼も停滞しているように感じている。
	▲	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・暖房商材は石油関連が80%、電気暖房は75%と出荷ベースで大きく前年割れしている。映像関連商材も前年比85%と苦戦している。
	▲	一般レストラン（経営者）	それ以外	・またいろいろな物が値上げされたが、個人店ではその都度値上げができない。新型コロナウイルス禍で、値上げをしてお客が離れてしまったら、という心配もある。値上げできない分、利益は減る一方である。
	▲	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波が懸念されてきたため、申込件数に伸びがない。
	▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販路を増やしたにもかかわらず、前年比8割弱の販売にとどまっている。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は師走で寒波があったため、例年並みに前月から販売トレンドが上昇している。しかし、前年は特別定額給付金需要で好調に推移したが、今年は前年比90%と振るわず終了している。新型コロナウイルス禍による半導体不足や商材の納入遅れの影響はさほど感じられない。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株が発生した途端に、客からのキャンセルが増加し、予約が減少している。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年内に対応すべき仕事が多く流れてきており、対応に苦慮しているほどである。
(北関東)	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年の今頃から見れば、受注は1～2割上がっている。ただし、前月同様、部品の入荷状況が悪く、取引先でも物を作りたくても作れないだとか、止まったりという状況がしばしば起こっているため、これからは部品次第である。

	○	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ホテルの宴会や宿泊がかなり増えている。飲食店の予約が取れないことが多く、客の動きは活発になっている。
	○	経営コンサルタント	それ以外	・各地の街中や商業施設等には人出があり、人々の外出を伴う消費活動が動き出した感がある。飲食店等にも多少、客が出入りしているが、混み出したというほどではない。
	○	社会保険労務士	取引先の様子	・業種によりばらつきはあるが、以前よりは回復してきている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・製造、販売共に順調に推移している。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・現在、取引先が十社ほどあるが、受注量が多い会社、少ない会社といろいろあり、総じて余り変わりはない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今月は例年並みの物量を確保している。しかし、石油価格高騰もあり、暖房器具は電気ストーブ、カーペット、オイルヒーター等の電気を使う家電製品の物量が増えている。燃料高やディーゼルエンジンに必要な尿素水の値上がり等により、遠方車両等の確保については15%ほど手配運賃が値上がりしており、負担も増えている。
	□	その他サービス業【情報サービス】（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数は増加傾向にあるが、特段の変化はみられない。
	▲	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・主要原材料価格の大幅な上昇があり、取引先に価格転嫁の依頼をしている状況で、非常に悩ましく、やや悪くなっている。
	▲	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は新型コロナウイルス禍以前の7割止まりとなっている。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引の解消やテナントの退去があったため、売上が減少している。燃料費や資材価格が上昇しているため、利益を圧迫している。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、公共工事は順調に推移している。前政権、現政権共に順調で、業界としては大変有り難い。ただし、政権与党議員の不祥事や大手旅行会社の子会社のGo To Travelキャンペーンの不正受給など、日本人の倫理観も地に落ちた気がしており、厳重な処分や責任を取ってほしいと思っている。一連の不祥事は、現与党政権誕生以降起きている気がしている。今期の公共工事は前年比86%の発注で、これは前期までの災害復旧工事が終了した結果である。当社も前期比10%減の受注と厳しい状況である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・当社顧客の宿泊施設関係の稼働も、かなり持ち直してきている。求人の声掛けをしてくれる客や新規の客もちらほらあるが、人手不足で対応できず、1～2件は断ったりしている。新型コロナウイルスは落ち着いてきているが、ここに来て、新型コロナウイルス新変異株が出てきて、先行きは不透明である。
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・小売業や製造業を中心に、求人数が増加している。特に、製造業は増産のため、各工程で人員が不足している。
	○	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・サービス業の派遣依頼が増加している。特に、都心の求人数は増加している。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食店、小売、食品卸業からの求人が増加している。
	○	学校【専門学校】（副校長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が少なくなり、経済活動が活発になったことで、様々な分野の企業が好循環になってきている。

□	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・工業生産等は全般的に動きが鈍っている。輸出も非常に円安なので厳しいようである。また、住宅等の外装、増改築等による改修は横並びである。衣料品、生鮮食料品はクリスマス、年末商戦、年始もあるので、動きは順調である。
□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・自動車関連事業所では世界的な半導体不足と物流遅延の影響等で、前月末に受注が大幅に減少し、月初は作業予定が余り入らない状況で、工場の一部稼働が停止していた。その後、月の途中からは短納期での受注に対応するため、残業や休日出勤を余儀なくされている。今後も先行き不透明な状況は続く。
▲	—	—	—
×	*	*	*